

評価規準の作成 図画工作

小学部 1段階「A表現」ア(ア)(イ)[共通事項] を取
り上げて

【参考資料】

- ◆「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨(小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部)」⇒★

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/nc/_icsFiles/afieldfile/2019/04/09/1415196_4_1_2.pdf

(小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)
平成31年3月29日 別紙4)



- ◆「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料(令和2年4月)」⇒☆

https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf



※「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」等からの引用文の一部を
斜体・太字・赤字で強調して示している部分は、山形県教育センターによるものです。

小学部1段階の「A表現」ア(ア)(イ)〔共通事項〕

小学部【図画工作】 内容				中学
A表現	【1段階】	【2段階】	【3段階】	【1段階】
	ア 線を引く、絵をかくなどの活動を通して、次の事項を身に付けるよう指導する。	ア 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、次の事項を身に付けるよう指導する。	ア 日常生活の出来事や思ったことを基に絵をかいたり、作品をつくったりする活動を通して、次の事項を身に付けるよう指導する。	ア 日常生活の中で経験したこと、思ったこと、材料などを基にしたいことや表し方を考えて、たり、つくったり、それらを取り入れる活動を通して、次の事項に付けるよう指導する。
	(ア)材料などから、表したいことを思い付くこと。	(ア)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。	(ア)材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。	(ア)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことをし方を考えて、発想や構想すること。
	(イ)身の回りの自然物などに触れながら、切る、ぬる、はるなどすること。	(イ)身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。	(イ)様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりすること	(イ)材料や用具の扱いに親しみたいことに合わせて、表し工夫し、材料や用具を選んい表すこと。

小学部【図画工作】 内容				中
〔共通事項〕	【1段階】	【2段階】	【3段階】	【1段階】
	ア「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア「A表現」及び「B鑑賞」を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア)自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。	(ア)自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。	(ア)自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くこと。	(ア)形や色彩、材料や光徴について知ること。
	(イ)形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	(イ)形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	(イ)形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	(イ)造形的な特徴などからをもつこと。

小学部1段階の「A表現」ア(ア)(イ)〔共通事項〕

内容	1段階	2段階	態度
A 表現	<p>ア 線を引く、絵をかくなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 材料などから、表したいことを思い付くこと。</p> <p>(イ) 身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすること。</p>	<p>ア 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。</p> <p>(イ) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。</p>	<p>ア 日常とを基につくった次の事項をきるよ</p> <p>(ア) 材料から表</p> <p>(イ) 様々な</p>
B 鑑賞	<p>ア 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>ア 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>ア 自分</p>

学部	小学部（図画工作）		
内容	1段階	2段階	
B 鑑賞	<p>(ア) 身の回りにあるものなどを見ること。</p>	<p>(ア) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。</p>	<p>(ア) の表感を</p>
(共通事項)	<p>「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。</p> <p>(イ) 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。</p>	<p>「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。</p> <p>(イ) 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。</p>	<p>ア「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導</p> <p>(ア) 形</p>

特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編p594～596より

評価規準の作成手順

1 「評価の観点及びその趣旨」(★参照)の確認

※ 各教科等の目標を踏まえて作成されている



2 「段階別の評価の観 points の趣旨」(☆参照)の確認

※ 段階の目標を踏まえて作成されている



3 「内容のまとめりととの評価規準」の作成

① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりととの評価規準」を作成する

評価規準の作成手順 1

～評価の観点及びその趣旨の確認～

図画工作の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	形や色などの造形的な視点に 気付 き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫して つくる ことができるようにする。	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などの造形的な視点に気付いている。 ・表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくつている。
思考力・判断力・表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を 広げたり することができるようにする。	思考・判断・表現	形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考えるとともに、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を 広げたりしている。
学びに向かう力・人間性等	つくりだす喜びを味わうとともに、 感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。	主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい 主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価規準の作成手順 2

～「段階別の評価の観点の趣旨」の確認～

1段階の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	形や色などに 気付き ，材料や用具を使おうと するようにする 。	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などに気付いている。 ・材料や用具を使おうとしている。
思考力・表現力等	表したいことを思い付いたり，作品を見たり できるようにする 。	思考・判断・表現	形や色などを基に，自分のイメージをもちながら，表したいことを思い付いたり，作品を見たり している 。
学びに向かう力・人間性等	進んで表したり見たりする活動に 取り組み ，作りだすことの楽しさに気付くとともに，形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	作りだすことの楽しさに 気付き 進んで表したり見たりする学習活動に 取り組もうとしている 。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

①「内容のまとまり」と「評価の観点」との関係の確認

A 表現

ア 線を引く、絵をかくなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア)材料などから、表したいことを思い付くこと。

(イ)身の回りの自然物などに触れながら、切る、ぬる、はるなどすること。

(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 P.117)

〔共通事項〕

ア「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア)自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。

(イ)形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 P.118～119)

(下線) …知識に関する内容

(長破線) …技能に関する内容

(太線) …思考力、判断力、表現力等に関する内容

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「知識・技能」のポイント

「知識」について

- ・「知識」は、〔共通事項〕ア(ア)から作成する。
- ・文末は、学習の状況进行评估することを踏まえて「～**している**」とする。

「技能」について

- ・「技能」は、「A表現」ア(イ)から作成する。
- ・文末は、学習の状況进行评估することを踏まえて「～**している**」とする。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」は、「A表現」ア(ア), [共通事項]ア(イ)から作成する。[共通事項]ア(イ)に続けて「A表現」ア(ア)を示し, 「自分のイメージを **もつ。**」を「自分のイメージを **もちながら,** 」とする。
- ・文末は, 学習の状況を評価することを踏まえて「**～している**」とする。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント(1)

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、当該段階の「観点の趣旨」を踏まえて作成する。
- ・「**進んで表したり見たりする学習活動**」を「**表す学習活動**」とする。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【内容のまとまりごとの評価規準（例）】

内 容		内容のまとまりごとの評価規準	
知識 及び 技能	〔共通事項〕 ア「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ア) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて 気付くこと。	知識・ 技能	・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて 気付いている。
	A 表現 ア 線を引く、絵をかくなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (イ) 身の回りの自然物などに触れながら、切る、ぬる、はるなど すること。		・身の回りの自然物などに触れながら、切る、ぬる、はるなど している。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【内容のまとまりごとの評価規準（例）】

内 容		内容のまとまりごとの評価規準	
思考力・判断力・表現力等	A 表現 ア 線を引く、絵をかくなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ア)材料などから、表したいことを 思い付くこと。 〔共通事項〕 ア「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (イ)形や色などを基に、自分の イメージをもつこと。	思考・判断・表現	・形や色などを基に、自分の イメージをもちながら 、材料などから、表したいことを 思い付いている。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【内容のまとまりごとの評価規準（例）】

内 容		内容のまとまりごとの評価規準	
学びに向かう力・人間性等	進んで表したり見たりする活動に 取り組み 、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を 創造しようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	つくりだすことの楽しさに気付き進んで表す学習活動に 取り組もうとしている。